



ふーどばんく OSAKA 通信



2015年2月号 vol.3

Face book 始めました!

「いいね!」



お待ちしております。

ふーどばんく OSAKAのHPからログインできますよ。

みなさんに、私達の日々の活動をタイムリーに知ってもらおうと、Face book を始めました!!

ボランティアのみなさんや、いつもふーどばんく OSAKA をご支援していただいている方々からもコメントや「いいね!」を頂ければ嬉しいです。

まずは、お友達になってくれるところから始めましょう。

見かけたら声をかけてください



ふーどばんく OSAKA のロゴが入ったスタッフジャンパーを見て、施設の方々にお声をかけて頂けるようになりました。みなさまにとって、馴染みのあるロゴになりつつあること嬉しく思います。先頃配送車にもロゴをつけ、大阪府内を忙しく走るようになりました。街で見かけたらお声掛けてくださいね。

毎月11日は、幸せの黄色いレシートにご参加を



大型ショッピングセンターイオンが毎月11日「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」として、お客さまがレジ精算時に受け取った黄色いレシートを、地域のボランティア団体名が書かれた店内備え付けのBOXへ投函していただき、レシートのお買い上げ金額合計の1%をそれぞれの団体に還元するというキャンペーンを展開されています。ふーどばんく OSAKAもダイエー長吉店で参加させていただいております。ぜひともお近くの方は、黄色いレシートをふーどばんく OSAKAの箱に入れて下さい。





●「ふーどばんく OSAKA」設立2周年を迎えるにあたって

今年4月が来ると「ふーどばんく OSAKA」が設立され2周年を迎えることとなる。

食品を提供いただいた多くの方々に感謝するとともに、多数のボランティアに協力いただいたこと、多くの施設や団体の皆さんに食品を届け続けられたことなど、本当に多くの皆さん方に温かいご支援をいただき、「ここまで来た」という実感を持っており、気を引き締めて2年目のスタートを切りたいと考えている。

あらためて「フードバンク」を大阪の地でスタートさせた志を振り返り、原点に立ち返って活動に邁進していきたいと思っている。

その第1の志は、「もったいない」という現実を言葉で表現するだけではなく、「もったいない」を“活かす”ことにある。それは、「地域や社会への再投資」という考え方であり、食品は生産され、消費者に購入してもらい消費するという一連の流れが“市場”のルールとなっており、その中で、“残ったモノ”“流通しなかったモノ”をもう一度、今度は金銭のやりとりを抜きにして流通させようという試みにチャレンジしようというのが、「フードバンク」活動だ。

第2の志は、利益追求ではなく、社会的課題解決の試みとして「フードバンク」活動を展開しようということである。行政は、法律が根拠となり、条例や制度、要綱等による定めにしたがい運営されるものであり、法を逸脱したり、犯したりすることが出来ないことは当然のことである。企業は、営利が目的となり、儲からないことなどには当然、手を出さないことは言うまでもない。

「行政にやってもらう」から、「行政とともにやってみよう」という発想を市民運動にもとりいれようという活動が「ふーどばんく OSAKA」である。行政万能論や行政依存という発想から抜け出し公と民とのあいだに橋を架けるソーシャルビジネスという活動が、「フードバンク」である。

第3の志は、地縁、血縁でもない一ミッション（使命）でつながる活動の展開を「フードバンク」で取り組んでいきたいということだ。最近の言葉で、志縁（しえん）「志の縁を繋げると書いて志縁」と言われており、志でつながるネットワークことである。

第4の志は、歪んだ社会を変革したいという思いを「フードバンク」活動で実践しようというチャレンジ精神だ。「誰でも良かった」といって無差別殺人を起こしてしまうという世相を、少しでも良い社会に作り直すことができないのか、こうした歪んだ社会に、食を通じて命の尊さを学ぶ機会を「フードバンク」で実践できないか、という発想から「ふーどばんく OSAKA」の活動をスタートさせたのである。

産声をあげて2年。よちよち歩きから皆さんの肩を借りてようやく一歩ずつ歩きはじめた「ふーどばんく OSAKA」に今後もご支援とご協力を期待するところである。



みんなの広場



ボランティアに参加した方、食品を提供して下さった方・受け取った方など皆さんからお寄せいただいたお声をご紹介します!!



高校生体験ボランティア

1月22日、和歌山の橋本市にある「きのくに国際高等専修学校」から15名の高校生と2名の先生が、ボランティア体験にこられました。

朝10時30分からのオリエンテーリングに始まり、テキパキと配達記録書に基づいて、食品を仕分けする高校生。20kgのボトルコーヒーは、さすがに重たそうでしたが・・・

配送先では、施設の現状などもご説明いただき学習もしました。

みんなの感想です



ふーどばんく OSAKA が、食品を提供する側と受け取る側の架け橋になる。素敵な考えだと思います。

1年生の時に2hjに行き、食品ロスを解決するという視点で見えていたのですが、今回は貧困の解決という新たな視点も加わってとても興味深かったです。



施設の方が言っておられた「自助・共助・公助の3つが重要でそれぞれができることをする事が大切」という言葉が印象的でした。



フードバンクという仕組みが、みんなを笑顔にするとおもいます。



今回初めてフードバンクの活動に参加しました。正直、緊張しすぎてあまり質問ができなかったのが残念です・・・



こんなご協力お待ちしております!!

ふーどばんく OSAKA では、皆様からのいろんな支援をお願いしています。

(食べ物は、賞味期限に余裕があり未開封のものに限ります)

自分の畑でとれた野菜や果物



調味料



車輛



空いた時間にボランティア



備蓄品



会社の備蓄品の入れ替えの時に・・・



新関西国際空港からアルファ米(白飯)を2300食分頂きました。
備蓄品の入れ替え時に寄贈していただいています。ご担当者の方空港の現状のお話を興味深く聞くことができ、関西国際空港を、近くに感じることができました。に直接ご搬入いただき、
アルファ米は、保存がきくうえに美味しいと好評です。
みなさんの職場では備蓄品の入れ替えの時に出てくる食品はどうされていますか？



大和証券福祉財団からの助成が決定！

公益財団法人大和証券福祉財団の第21回ボランティア活動助成を、30万円分受けることが決定しました!!
申請応募数417件のうち、153件が採用され、その中にふーどばんく OSAKA がエントリーしました。
30万円の活動助成費で、折り畳み保冷バックと強力保冷剤の購入したいと思います。これで、夏の冷蔵・冷凍食品の配送がしやすくなります。折り畳み式なので、保管の場所もとりません。
これからも、どんどん、助成金や補助金をうけるべく、申請をしていきたいと思っています。



NPO法人 ふーどばんく OSAKA

〒599-8101

大阪府堺市東区八下町 1-122 大阪食品流通センター内
TEL : 072-258-2201 FAX : 072-275-7763
<http://www.foodbank-osaka.jp>
e-mail: info@foodbank-osaka.jp